



生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月

GO

みなさんからのご意見

研究について

食草園レポートを楽しみにしています

投稿日：2017.11.21 ニックネーム：ピッピ

関連ページ：[チョウの幼虫は何歳？](#)

星野さま

質問への回答をいただき、ありがとうございます。とても参考になりました。

私が住む場所には自然史博物館があります。1時間ほど車に乗れば行くことが可能です。行動したいと思います。

我が家の場合、ツマグロヒョウモンの食草は春夏は花壇のパンジーやピオラです。夏が終わり、パンジー、ピオラなどを食べ尽くすとタチツボスミレに住むようになりました。タチツボスミレを食べて育つ幼虫はパンジー、ピオラを食べて育つ幼虫よりも体長が短くなります。食草が体長を左右する理由を探すために観察を続けています。幼虫はコアシナガバチに襲われることが時々あります。繁殖し、生きていくのは容易ではないことが分かってきました。

食草園の掲載を楽しみにしています。息子がもう少し大きくなったらぜひ、貴館に遊びに行きたいと思います。

その他

BRHメールマガジン Vol.371 「動詞で考える生命誌」

投稿日：2017.11.19 ニックネーム：ラフランス

【中村館長様】

各地で初雪を観測する季節となりました。●BRHメールマガジン Vol.371 ありがとうございます。その中の「生命誌アーカイブ「動詞で考える生命誌」」を拝見いたしました。生物系分野だけでなく、他の理学系や、異分野の哲学等の情報も満載で、知的好奇心を予想以上に満足させる優秀なコンテンツでした。これまでの貴館の活動の一部が、このようなコンテンツにまとめられていることに、さすがだと驚き、ハイクオリティーだと感じました。それだけ、優秀な、高等教育用に応用できるコンテンツではないでしょうか？●寒くなりますので、体調管理を。では、失礼いたします。

お返事

投稿日：2017.11.20 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。四半世紀近く活動を続けてくると仕事のベースになるコンセプトを口で説明するだけでなく具体的な形で表現することができるということがわかり、自分たちもなるほどと思っているのが実情です。それを評価していただけたのは、BRHを理解して下さっているということで心から御礼申し上げます。皆さまに活用していただけるよう、よろしく願いいたします。



10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)

10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)

昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)

パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)

あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

研究について

チョウの幼虫は何歳？

投稿日：2017.11.18 ニックネーム：ピッピ

生命誌研究館のみなさまへ

四季は素直なもので、すっかり寒くなりましたね。暦とは不思議なものです
ね。

今日も質問があり、投稿させていただきます。自宅の庭にてツマグロヒョウモンの生態を調べています。昆虫の専門知識がないのですが、彼らの行動はヒトのような感情が見られることがあり、観察が楽しみになりました。

ツマグロヒョウモンの幼虫を観察する際には、体長を計測しています。今悩んでいるのが幼虫の「齢」についてです。モンシロチョウなどは、幼虫の体長が〇〇cmになれば〇齢幼虫、と基準があると思います。しかしツマグロヒョウモンについては齢を定める基準があるのかが分からないのです。私自身、文献の探し方が未熟なせいでしょう。

大阪に行く機会が得られないのが残念です。研究室のプロのみなさんにお聞きして良いものか迷いますが、幼虫の「齢」の見分け方について、意見を聞かせていただけたらと思います。観察の結果は、どこかで発表することを目指しています。

お返事

投稿日：2017.11.20 名前：表現を通して生きものを考えるセクター星野

ツマグロヒョウモンの観察を続けていらっしゃるとのこと、ご自宅のお庭にはチョウが好きなお花や食草があるんですね。

せっかくお問合せいただきましたが、当館にはチョウの幼虫の「齢」について研究する専門家がおられませんため、ご質問にお答えすることが叶わず申し訳ありません。自然史博物館などには詳しい方がいらっしゃる可能性がありますので、お問合せされるのもよいかもしれません。

ところで、先日ピッピさんからお便りいただいた後、食草園にツマグロヒョウモンがやってきました。その時の様子を撮影しましたので、12月上旬にHP内「[食草園の毎日](#)」に掲載する予定です。よろしければぜひご覧ください。

その他

お祝い：地球史「チバニアン」命名

投稿日：2017.11.14 ニックネーム：相模のラクダ

【中村館長 様】

館長様の、ご専門ではないかもしれませんが、本日（2017.11.14）の報道で、地球の歴史をひもとく地質年代に日本の名前が初めて刻まれることが、ほぼ確実になる模様で、それは、ネアンデルタール人が生きていた、今から、77万～12万6000年前の年代「：新生代第四紀更新世（後期とカラブリアンの間）」を、千葉県の市原市南部の地層が地球の磁気が南北で反転する現象が明確に確認できることより、「チバニアン」の命名が可能性大となりました。もし、よろしければ、コメントなど、いただければ幸いです。

お返事

投稿日：2017.11.20 名前：中村桂子館長

おっしゃる通り、専門ではありませんが、生命誌にとって地球史は大事な事柄です。先般「人新世」という人間の勝手な行動の結果を地質年代の中で考えなければならなくなったというテーマで文を書くことを求められ、考え込みました。今回の「チバニアン」は、磁気の反転という自然のふしぎが刻みこまれているということですから考え込むどころか、よくそこにとっと思っています。

その他

BRHメールマガジン vol.37 新着情報

投稿日：2017.11.01 ニックネーム：相模のラクダ

【中村館長 及び、スタッフの皆様】

そろそろ、温かい食べ物、恋しい季節となり「年賀状」も発売開始だそうで、世間はもう、クリスマスや年末年始モードですかね？ さて、メールマガジンの新着情報ありがとうございます。いつも期待して観ています。そのお知らせでは、①11/18(土)：小田研究員の「ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボ」②11/18,19(土日)：「北大阪ミュージアムメッセ」③12/16(土)：めったに見られない「生命誌オープンラボ」等の行きたい「催し」が目白押しなのですが、しかし、大阪へ行くには・・・です！出来れば、その「催し」の雰囲気：「記者的な雑感」でも次回の「メルマガ」でお知らせいただければ超幸いです。微力ですが「催し」のご成功を応援しています。季節柄、皆様お身体ご自愛を。では、失礼します。

お返事

投稿日：2017.11.15 名前：中村桂子館長

応援ありがとうございます。あげて下さった催しはどれも内容の濃い、研究館ならではのものになるはずと思っています。関東からわざわざいらして下さるのは難しいかもしれませんね。何かの形でお知らせができるようにしたいと思います。

▲ ページの先頭へ

サイトのご利用について | プライバシーポリシー | サイトマップ | アイアポリシー | サイトマップ



JT生命誌研究館
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.